

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【公開番号】特開2001-340290(P2001-340290A)

【公開日】平成13年12月11日(2001.12.11)

【出願番号】特願2000-165563(P2000-165563)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 B 1/04

G 0 2 B 23/24

H 0 4 N 5/335

【F I】

A 6 1 B 1/04 3 6 2 J

A 6 1 B 1/04 3 7 2

G 0 2 B 23/24 B

H 0 4 N 5/335 Z

H 0 4 N 5/335 F

【手続補正書】

【提出日】平成16年9月14日(2004.9.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 0】

図5は伝搬遅延時間  $T_d'$  が、ピクセルクロック期間  $T_p$  よりも  $T_d' ( T_d' < T_p )$  長いとき、すなわち  $T_d' = T_p + T_d$  のときに CDS回路26に入力される映像信号  $V_{S0}$  と、この映像信号をサンプリングするためのCDS制御パルスを表している。映像信号  $S_1'$  はリセットゲートクロックRG0及び伝搬遅延時間  $T_d'$  だけ遅れた映像信号であり、パルス信号  $S_2'$ 、 $S_3'$  は、それぞれ映像信号  $S_1'$  に対するクランプパルスCP及びサンプルホールドパルスSHである。パルス信号  $S_2'$  は  $t_1'$  時間遅れて出力され、パルス信号  $S_3'$  は  $t_2'$  時間遅れて出力される。ここで、 $t_1' = T_d' + T_c$  であり、 $t_2' = T_d' + T_s$  であるので、 $t_1' = T_p + T_d + T_c$ 、 $t_2' = T_p + T_d + T_s$  となる。クランプパルスCP及びサンプルホールドパルスSHは周期  $T_p$  の周期的なパルス信号なので、期間  $t_1'$ 、 $t_2'$  遅延されたクランプパルスCP及びサンプルホールドパルスSHは、 $T_d + T_c$ 、 $T_d + T_s$  遅延されたパルス信号にそれぞれ等しい。したがって、伝搬遅延時間  $T_d'$  がピクセルクロック期間  $T_p$  よりも  $T_d$  時間長いときには、 $T_d' (< T_p)$  を伝搬遅延時間として、これに対応するスイッチをオン状態に設定すればよい。すなわち、 $T_d$  が2カウントに対応するときには、スイッチA6とスイッチB1をオン状態に設定すれば良い。このとき、パルス信号  $S_5'$ 、 $S_4'$  は映像信号  $S_1'$  の1つ前の周期の映像信号に対するクランプパルス及びサンプルホールドパルスとなり、パルス信号  $S_6'$  は2周期前の映像信号に対するサンプルホールドパルスとなる。なお、伝搬遅延時間が2周期( $2T_p$ )よりも長いときも同様である。